

# FPGAベンチャー 米エフィニックスの事業展開



中西 代表

半導体不足が長期化し、特に産業機器に不可欠なFPGAも調達難が深刻といわれている。大手2社が市場のほぼ8割を占めるときに、納品は1年待ちといった状況で、生産計画への影響に悩むユーザーも多い。そうした中、独自の特許技術で強みにする米カリフォルニア州に本社を置くFPGAベンチャー、Efinix(エフィニックス)が市場に浸透し始めている。大手商社と代理店契約を進めるなどし、日本をはじめアジア市場に展開している。

グローバルインフォメーションの予測では、FPGAの世界市場は2020年の59億ドル(8000億円強)から25年には86億ドル(約1兆2000億円)に成長、CAGRも7.6%を記録する見込み。スマートフォンの普及、ビッグデータの需要が背景にある。特にいろいろなアプリケーションに特化した半導体の活用が進む中、FPGAはプログラムを変えてさまざまな用途に対応できる汎用(はんよう)性が評価される。ただし、高性能、早い納品



エフィニックスの口

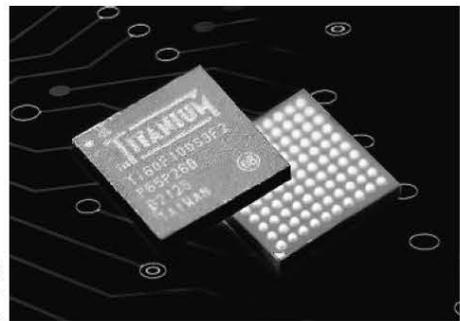


足状況は深刻。ザイリナーもいるという。エフィニックスは12年設立で、FPGAに特化した開発・ファブレス製造を手掛ける新興企業。開発拠点を米、カナダ、マレーシ

## 独自技術で低消費電力・高速 日本でも50社以上が採用

### 独自技術で低消費電力・高速

にならぬ例も多いため、担当者は「モノアに置き、各国に営業拠点を構える約130人のグローバル企業。20年以降、年4倍前後のペースで成長している。特に柱にするのは「トライオンFPGA」。「タ



タイタニウムFPGA

ライオンFPGA」。「タ」に合致していることもあり、浸透し始めた。直近では、納品まで平均20週間前後。人気度合いによって違いもある。優位性を持つ。



各種展示会でも半導体をはじめ部材確保のルートを探る企業関係者は多い

加賀電子は今月、子

が、増産も決まっており、納期は夏以降にさらに改善される見込み。同社は、独自のテクノロジーが特長。より効率よく配置配線が可能で、フレキシブル、エッジ・コンピューティング、ハードウェア・アクセラレーション、機械学習、ディープラーニングなど急成長中のアプリケーションに適用可能——と訴求する。支援受け新規開拓

加賀電子は今月、子